

自然学習講座

テーマ：水元公園の哺乳類を追え！

日時：令和6年2月4日(日) 13時から15時まで(雨天決行)

講師：水元かわせみの里 専門員

参加費：無料 定員：20人

申込開始：令和6年1月5日(金)

集合：水元かわせみの里 水辺のふれあいルーム

受付：令和6年1月11日(木)まで電話で受付し、応募者より抽選。

※ 野外での観察もありますので、動きやすく、汚れてもよい長袖長ズボンでお越しください。
 ※ 歩きやすい運動靴などでお越しください。また、お持ちであれば軍手をご持参ください。
 ※ 小学校3年生以下は保護者同伴。



水元公園に生息するタヌキなどの野生動物の痕跡を探し、動物たちの暮らしぶりについて学びます。

イベント・ガイドウォーク

フォトコンテスト作品展示

募集期間
令和6年1月12日(金)～
令和6年2月11日(日)

葛飾区内で撮影された、様々な生きものの作品を募集・展示します。来館された方からの投票で、入選作品を決定します。



ガイドウォーク

1回目 11時から30分間
2回目 13時30分から30分間

専門員が水元かわせみの里周辺を解説しながらご案内します。ボランティア活動日には、ボランティアさんが野草園を案内します。



水元かわせみの里とは (水元小合溜水質浄化センター)

水元小合溜の水辺環境を、豊かな生きものが生息していた昭和30年代前半の頃のように戻すために作られた、水質を浄化する施設です。施設内にある水辺のふれあいルームでは、専門員による解説や講座、様々な展示やイベントなどを通して、周辺の自然や歴史、水質浄化の取り組みなどについて楽しく学ぶことができます。



■ 開館時間・・・9時から17時30分(4月から10月)、9時から16時30分(11月から3月)

■ 休館日・・・月曜(祝日の場合は、その直後の平日)

■ お問い合わせ・・・水元かわせみの里 03(3627)5201 東京都葛飾区水元公園8番3号

■ 交通 京成バス

水元公園循環バス(3月から11月の土日祝のみ)

金町駅南口←→戸ヶ崎操車場・八潮駅南口
(金61系統)

金町駅南口→水元公園→金町駅南口

水元かわせみの里下車 徒歩1分

水元五丁目 または 大場川下車 徒歩5分

バス停の場所は、5ページの地図をご覧ください。

※ お車でお越しの際は、水元公園有料駐車場をご利用ください。



葛飾区公式HP



ブログ



Facebook



X (旧Twitter)

水元かわせみの里

水辺のふれあいルーム通信

令和5年 12月20日
(通算第201号)

中国(唐)の鼠麴なので『唐鼠麴』

水元小合溜の生きもの:191

トウネズミモチ

モクセイ科イボタノキ属

樹高 4～8m

果実 11～12月頃

中国原産の外来種ですが、成長が早く大気汚染にも強いことから、都市公園や街路によく植えられました。在来種のネズミモチと似ますが、ネズミモチの葉は光に透かすと、葉脈が透けて見えないことで見分けられます。



トウネズミモチの葉
葉脈が透ける

ネズミモチの葉
葉脈が透けない

野鳥に食べられ分布を拡大

果実は冬の野鳥たちの貴重な食糧で、ヒヨドリなどがよく訪れます。トウネズミモチはそうした野鳥たちを介して分布を広げ、今では水元公園中で見られます。このようにトウネズミモチは高い繁殖力を持つので『重点対策外来種』に指定されています。



ツグミ

ヒヨドリ

発見!お散歩隊がゆく

日々変わりゆく小合溜の自然を、お散歩隊が見つけて紹介します!



12/12 **ラクウショウ** 水生植物園の周辺で見られる。今年は12月初旬ごろには鮮やかな紅葉が見られた。



12/14 **ヒメジョオン** 夏から秋に咲く花だが、今年のあまりに暖かい気候のためか、水元かわせみの里で咲いていた。



12/3 **ハイゴケ** キャンプ場付近の日当たりの良い草地で見られた。乾燥に強いからか、みずみずしい姿をしていた。



12/3 **ヒメツボグケ** キャンプ場入口で見られた。写真中心の球体(1mm程の大きさ)が胞子の詰まった「胞子体」。



12/2 **カワセミ** 12/2に水元公園全域のかわせみ個体数を調査した。結果、公園内に約10羽のかわせみが確認された。



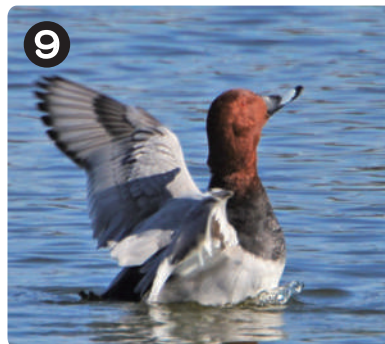
12/13 **アオサギ** 水元かわせみの里で見られた。長い枝をくわえ、止まり木の上にとまっていた。



12/5 **カワウ** 14時頃、200羽を超える群れが西へ飛去するのが見られた。ねぐら入り行動と考えられる。



12/14 **ゴイサギ** 水元かわせみの里で休んでいた。夜行性の鳥のため、昼間は木の上で寝ている姿をよく見る。



12/5 **ホシハジロ** この日の調査では、公園全域で1079羽が確認された。水元大橋付近で大きな群れが見られる。

2 ● 写真を撮った場所を地図上に示してありますが、他の場所でも見られます。皆さんもぜひ見つけてみましょう。

専門員コラム

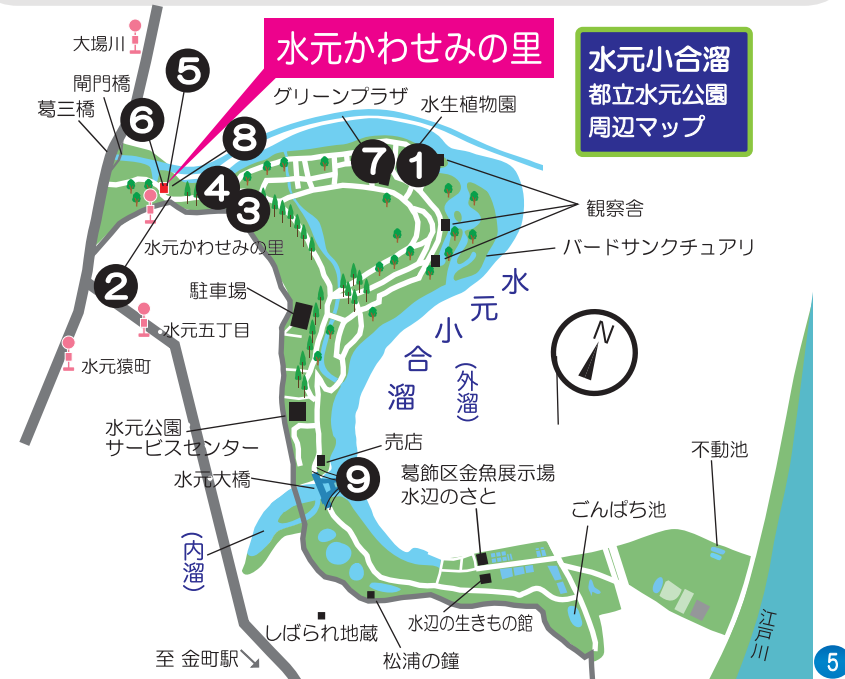
「～一見無関係な自然の繋がり～
卵の高騰と湿地の開発」の話

今年はカモが多く、水元大橋付近では既に昨年のピークを越える1000羽以上のホシハジロ(9)の群れが見られます。水元公園がカモに人気なのは素敵なことですが、例年以上の集まりを見せるその背景には、あまり素敵でない事情があるかもしれません。

カモの個体数変動には様々な理由があるため、原因の特定は難しいですが、可能性の一つに「湿地の開発」があります。湿地は多くの生きものが暮らす重要な環境ですが、経済的には価値がないとされ、開発によって失われることも多いです。カモも湿地を利用しますが、その湿地が失われれば、行き場を失ったカモ達は他の湿地に移動するほかなく、一つ一つの湿地のカモの密度が高まります。

そして、湿地の開発によるカモの密度上昇はとあるリスクを引き上げます。今年も流行を懸念されている、高病原鳥インフルエンザです。高病原性鳥インフルエンザの流行は、養鶏場での鶏の大量死のリスクを高め、結果、卵の高騰を引き起こしたりと、我々にとっても決して他人事ではありません。

自然は全てつながっており、我々もその自然のサイクルの中で生活をしています。そのため、自然の変化は少しずつ我々の生活に影響を及ぼします。我々の生活を守るためにも、我々の生活を支える自然を保全していく必要があるのだと思います。(野間)



ボランティア活動報告

水元公園のカワセミ個体数一斉調査(非繁殖期)を実施しました！

12月2日(土)に、第3回目となるカワセミの個体数調査を行いました。一般公募に応募された市民の方々をはじめ、日本野鳥の会や、水元かわせみの里ボランティアなど、多くの方々にご協力を頂き、実施しました。結果、10羽以上のカワセミが息していることが推測されました。



公園内に計35箇所の調査地点を設け、全員で分担して配置につきました。



10時15分～11時45分の90分間、カワセミの飛来を記録しました。



スタッフを含め、総勢76名での大調査となりました。皆様、どうもありがとうございました！

ボランティア募集

水元かわせみの里ボランティアは、活動を通して、ボランティアの方々が地域への愛着を育み、ひいては地域の発展へ貢献することを目標とします。地域の自然保護活動や、来館者へのクラフト教室など、やりがいをもって参加していただける活動がたくさんありますので、気軽にご参加いただきたいと思います。

- 活動内容 水元かわせみの里周辺の美化活動や、水辺のふれあいルームの管理等補助作業
ガイドウォーク等の補助作業、ボランティア研修会の受講
葛飾区子どもまつり、環境・緑化フェアなどへの参加
- 募集期間 随時募集しています
- 対象 18歳以上の方(原則)
- 活動日 月4回程度(定例活動日 第1、3土曜日、第2、4木曜日)
- 申し込み・お問い合わせ 水元かわせみの里 03(3627)5201

学校等団体利用のご案内

水元かわせみの里には、水元小合溜の歴史や自然の解説を行う専門員がいます。総合的な学習の時間、理科、社会科、生活科などの学習にぜひご利用ください。

総合的な学習の時間



植物の葉っぱと種の観察

水元小合溜周辺の身近な生きものや、環境、歴史について楽しく学びます。水質浄化センターの見学なども可能です。

職場体験受け入れ



中学生職場体験

施設周辺の美化活動、施設内の管理作業、生物の調査、ガイドウォークの補助など、様々な体験が可能です。

自由研究の補助



虫とのキットを作る

水辺の生きもの調査、図鑑作りなど、様々な内容の自由研究のイベントを行い、夏休みの児童への、学習のサポートをします。

その他、主な団体利用の内容

- ・生物関係のクラブ活動の補助
- ・大学、専門学校の実習の受け入れ
- ・福祉系団体への自然解説
- ・歩こう会など、各種団体への自然解説

※バスでの来館のご希望や、ガイドの時間・内容などの詳細については、ご相談ください。
※団体利用に関するお問い合わせは、水元かわせみの里窓口、または電話(水元かわせみの里 03-3627-5201)まで。

野草園だより 見頃の生きもの12月編

水元かわせみの里の裏手にある小さなビオトープ「野草園」。様々な生きものが暮らすこのビオトープで見られる、ステキな生きものをご紹介します。

12月の見頃

マンリョウ

丸く赤い実がたわわに実った姿を、お金がたくさん貯まった様子に例えて『万両(まんりょう)』と名付けられました。名前の由来から、縁起物として、正月飾りなどに使われることもあります。赤い実はよく目立ちますが、2月頃まで実が残っていることが多く、長く観察できます。



野草園マップ



見られるポイントはココ！